



もし印刷ワークフローのための高速でスケーラブルなソリューションを開発する必要があるのであればMako Coreが有益です。Makoは、たとえばあのスイスアーミーナイフが多くのブレード(BLADE)を持っているのと同じように、多くの機能を持っており、ユニークなドキュメントオブジェクトモデルが採用されており、MakoのC++およびC#ベースのAPIは、カラー、フォント、テキスト、画像、ベクターコンテンツ、メタデータなどを制御し、精度とパフォーマンスを両立します。

BLADE : 変換

Makoのドキュメントオブジェクトモデル(DOM)アーキテクチャは、サポートする任意のPDLの間で双方向の形式変換をサポートし、可能な限りリッチな変換を達成できるようにターゲット形式を最大限に活用します。

BLADE : RIP

完全に統合されたJaws RIPにより、Mako APIを通してフルにカラー管理されたレンダリングエンジンにマルチスレッドでアクセスでき、後でハーフトーンまたは誤差拡散スクリーニング処理が行える8または16 bppのラスターを生成できます。機能の組み合わせにより、たとえば面付けやバリアブルデータの様な、単一プロセスでRIP処理に先んじてPDFを処理するソリューションを開発することが可能になります。

BLADE : 分析

MakoのDOM APIを使用すれば、コンテンツを調べたり編集できます。これはPDL形式やプラットフォーム間で一貫しています。これを使用し、デジタルドキュメントのあらゆる側面を調査したり変更できます。Makoを使用すれば、ページサイズ、ページ数、フォント、色空間、メタデータ、オプションのコンテンツ、ブックマーク、注釈、添付ファイル、ドキュメント構造などのレポートを簡単に作成できます。

PDF用に調整された特別なAPIにより、ドキュメントで使用されているフォントやスポットカラーをすばやく調査できます。すべての形式の共通項目、たとえば画像、テキスト、フォント、ベクターアートなども同様に扱うことができます。最小限の労力で、サポートする任意のPDLと連携するソリューションを開発できます。

BLADE : 最適化

MakoのDOMアーキテクチャは、コンテンツの自動的な最適化機能を提供します。たとえばPDFに出力する場合、Makoは、重複するフォントを排除し、サブセットフォントをマージしてファイルサイズを縮小し、下流工程の処理効率を向上させます。画像の圧縮とダウンサンプリング、色変換、フォントの埋め込みなどは、PDF出力APIへの簡単なパラメーターで制御できます。開発者は、バリアブルデータアプリケーションのストリーミング処理など、特定ワークフローに適した最適化が行えます。



BLADE : 作成

MakoのAPIは、既存のドキュメント形式を変換または処理するだけでなく、ゼロから、または複数のソースからのコンテンツを用いて、新しいコンテンツを作成するためにも使用できます。フォントリソースを読み出し、または参照し、画像を埋め込み、メタデータをMako DOMに直接入力し、新しいテキストまたはベクターグラフィックスを生成できます。そして、最適化されたPDF、XPS、またはPCLを生成できます。

BLADE : クラウドアプリ開発

Makoの小フットプリントは、Amazon

Web Services (AWS)、またはMicrosoft Azureのスケーラブルなクラウド実装のコンテナ化に適しています。Makoベースのコンポーネントを開発し、Alpine LinuxのDockerコンテナ内で実行させることができます。これは、タスクの要求に応じてスケールアウトおよびスケールインできるマイクロサービスを開発し、高速かつ大容量のソリューションを実現するのに理想的です。

BLADE : モバイルアプリ開発

MakoのiOSおよびAndroid用プラットフォーム用に調整されたレンダリングは、これらプラットフォーム上でのハードウェアアクセラレーションを最大限に活用します。ユーザーは、使用しているオペレーティングシステムやデバイスに関係なく、高速で流れるようなドキュメント表示エクスペリエンスを得ることができます。

BLADE : デスクトップアプリの開発

Makoを使用してWindowsアプリケーションを開発し、ドキュメントを読み込み、表示、編集、処理、保存できます。独自の製品を開発するために、最小限の機能を持つPDFビューア/エディタ製品が利用できます。ワークフローコンポーネントまたはスタンドアロンアプリケーションを開発するために使用できます。同じアプローチをmacOSもしくはLinuxアプリケーションにも適用できます。

BLADE : IoTアプリ開発

MakoのUWPサポートを使用すると、ドキュメントの生成または処理をWindows 10 IoTベースのデバイスに組み込むか、Raspberry Pi 4ベースの開発にRaspbianライブラリを使用できます。

BLADE : プリンタードライバー開発

印刷が必要なデスクトップアプリケーションまたはサーバーサイドプロセスで、Makoの高速で正確な変換能力をプリンタードライバーの中で利用できます。出力デバイスに配信できる印刷ストリーム形式に変換できます：

- PCL5-e or PCL6 (PCL XL)
- PS (PostScript)
- XPS (Windows V4-アーキテクチャドライバー)
- GDI (Windows V3-アーキテクチャドライバー)

これらの変換は、すべてのプラットフォームで使用できます。これらを用いて、モバイルデバイス (Android、iOS) または

Windows 10 IoT上で動作するアプリで印刷に対応できるようになります。

BLADE : 統合

デジタルドキュメントを処理するために複数のライブラリやSDKをライセンスしていることがあります。これは、開発した時に実現できなかった特別な機能を場当たりの方法で追加したためです。時間が経つにつれ、これは増大する可能性があります。SDKの使用状況を精査してください。Makoでの統合を検討する良いタイミングかもしれません。Makoは、単独でPDF、XPS、PCL5、PCL/XLおよびPostScriptのすべての要件を満たすことができます。乗り換えサービスを利用し、Makoによる統合によって達成できるコスト削減を検討してください。

乗り換えサービス

30年以上に渡る印刷業界へのコアコンポーネントの供給経験から、サプライヤーの切り替えには特別な課題が伴うことをよく理解しております。乗り換えサービスは、Makoへの移行を支援し、できるだけ早期に最大のメリットを出すことができます。これが乗り換えサービスを導入した理由です。当社の主要ソフトウェアエンジニアがMakoを貴社コードに統合し、既存のサプライヤーと同じ機能を実現することを支援します。主要なソフトウェアエンジニアがこの代替を支援するための期間は、最長20日間です。当社の標準的な契約期間は3年ですが、契約期間を5年にすれば、乗り換えサービスを無料で含めることができます。

ソフトウェア仕様

サポートPDL

- PDF, XPS, PostScript, PCL5とPCL/XL
- PDFバージョンとISO標準
- PDF 1.2, 1.3, 1.4, 1.5, 1.6, 1.7, 2.0
- PDF/X-1a, PDF/X-4
- PDF/A-1b, PDF/A-2b
- リニアライズ (web-ready) PDF

サポートプラットフォーム

- Windows (x86, x64)
- Linux (Ubuntu, Mint, Centos, Alpine)
- macOS
- iOS
- Android
- Windows UWP

サポート画像&ベクター形式

- EPS
- TIFF, PNG, JPEG
- SVG, XAML, SKIA

サポート開発言語

- C++
- C#
- Python

APIドキュメント

api.globalgraphics.com/mako

開発用ドキュメント

developer.globalgraphics.com/display/DEVGGS/Mako+Core

2020年5月



sales@globalgraphics.co.jp

www.globalgraphics.co.jp

Global Graphics Software Inc.
5996 Clark Center Avenue
Sarasota, FL 34238
United States of America
Tel: +1(941)925-1303

Global Graphics Software Ltd
Building 2030
Cambourne Business Park
Cambourne, Cambridge
CB23 6DW UK
Tel: +44 (0)1954 283100

グローバルグラフィックス株式会社
〒100-0014
東京都千代田区永田町2-17-17
アイオス永田町610
電話：03-6273-3198